

予防の徹底も  
“おもてなし”の  
一つですね

風しんは予防できる  
家族のためにも  
今すぐ対策を

40~50代の  
男性は  
抗体検査を!

## 2020年に向け、一人ひとりの意識で感染を防ごう

# 子どもたちと社会の未来のために、風しんの予防接種を

昨年、日本で3000人近い風しんの感染者が報告されました。風しんは感染力が強く、決して軽視はできない疾患です。

国は、2020年度までに風しんを排除することを目指し、予防接種の追加的対策を実施。日本医師会の協力の下、対象者に呼びかけています。

日本医師会の横倉義武会長に、元体操選手で2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会理事の田中理恵さんが、感染拡大の現状と予防接種の重要性について聞きました。



2020年東京オリンピック・パラリンピック  
競技大会組織委員会理事  
公益財団法人日本体操協会理事  
**田中理恵**さん

たなかりえ／1987年和歌山県生まれ。体操一家で育ち、2010年世界体操競技選手権大会でロンドン・エレガンス賞を日本女子で初めて受賞。12年全日本選手権大会女子個人総合において初優勝。同年NHK杯体操女子個人総合優勝。兄の和仁、弟の佑典とともに、3兄弟でロンドンオリンピックに出場。13年に現役を引退し、テレビ出演やイベントなどで活躍。

**横倉** 風しんは、感染力の強いウイルス性の疾患で、妊娠初期の女性が感染すると、出生児に先天性の障害を引き起こす可能性があるんです。

**田中** 風しんに感染するとどんな症状が出ますか。

**横倉** せき、くしゃみなどによつて空気に飛散した病原体を吸入することで、人から人へ感染し、感染から2〜3週間後発熱、全身の発疹、リンパ節の腫れが見られます。たいていは3日くらいでおさまりますが、成人が発症すると重症化することがあります。妊娠期間中は予防接種を受けられないので、パートナーや家族、職場の人などがウイルスをもたらさないよう、気を付けなければなりません。

**田中** 選手時代は、チームの皆にうつさないよう、インフルエンザなどの感染症には特に注意していました。でも風しんについては、そんなに危険だということをよく知らなかったんです。

**田中** なぜ急に感染者が増えたのでしょうか。

**横倉** 日本では定期予防接種が行われているので、児童や若年層の感染はほとんどなくなつたのですが、公的な予防接種の機会がなかった時期があり、とくに免疫を持っていない成人の男性を中心に感染が広まったんです。

**横倉** ご家族が予防接種を受けて良かつたと思いませんか。昨年は、アメリカ疾病対策センターが、予防接種や罹患歴のない妊婦は日本に渡航しないように勧告したほど、日本の風しん患者は増えているんです。

**田中** 40歳以上の男性に予防接種の空白が

**田中** 自覚がなく人についてしまうこともあるのでしょうか。

**横倉** 風しんが流行していることをご存じですか？

**田中** はい、私は昨年出産したのですが、妊娠中に抗体検査を受け、夫にも予防接種を受けてもらいました。

**横倉** 潜伏期間や、症状が軽く風しんと気づかないうちにうつすことは大いにあります。なかには風しんへの罹患や予防接種の記憶がないままいたり、母子健康手帳に抗体があるかどうか知らない人もいます。また、人によつては、過去に予防接種を受けていても、抗体価が低くなつてしまうこともあるんです。

**田中** 風しんに感染するとどんな症状が出ますか。

**横倉** せき、くしゃみなどによつて空気に飛散した病原体を吸入することで、人から人へ感染し、感染から2〜3週間後発熱、全身の発疹、リンパ節の腫れが見られます。たいていは3日くらいでおさまりますが、成人が発症すると重症化することがあります。妊娠期間中は予防接種を受けられないので、パートナーや家族、職場の人などがウイルスをもたらさないよう、気を付けなければなりません。

**田中** 無償でも、忙しい人はなかなか病院に行けないのでは……。

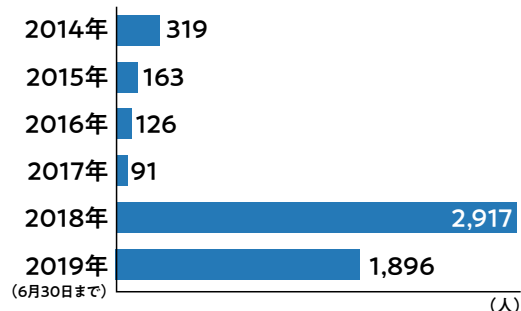


公益社団法人日本医師会 会長

## 横倉義武

よこくよしたけ／1944年福岡県生まれ。久留米大卒。社会医療法人弘恵会ヨコクラ病院理事長。地域に寄り添うまちづくりをモットーに福岡県で医療に従事。福岡県医常任理事・副会長・会長・日医副会長を経て、2012年から第19代日本医師会会長に就任。18年に4選。かかりつけ医を中心とした医療提供体制の構築に尽力している。17年世界医師会会長に就任。

●風しん報告数(国立感染症研究所WEBサイトから)



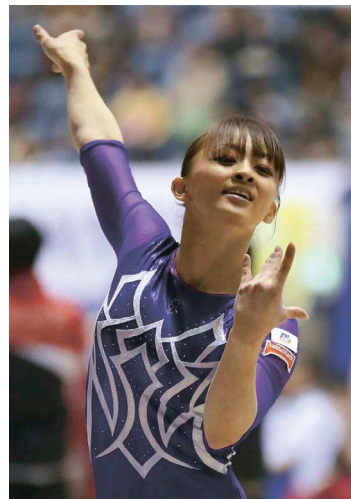
## 風しんの定期予防接種制度

現在の予防接種の制度では、1歳と小学校入学前の2回接種ですが、1979年以前に生まれた男性と、62年以前に生まれた女性には定期接種の機会がありませんでした。今回の追加的対策で、62〜79年生まれの男性は、原則無料で風しん抗体検査とワクチン接種が受けられます。

新たな定期接種の対象  
(40〜57歳の男性)

性別	接種回数	対象年齢
男性	2回個別接種(現在は1歳と小学校入学前)	0歳
女性	1回個別接種(幼児期)	29歳(1990年4月2日生まれ)
	1回個別接種(中学生)	31歳(87年10月2日生まれ)
	一度も接種なし	40歳(79年4月2日生まれ)
	1回集団接種(中学生)	57歳(62年4月2日生まれ)

※年齢は2019年7月24日時点



朝日新聞提供

※自治体により対応が異なるため、それぞれの市区町村にお問い合わせください。

リストが載っています。

めします。今回の風しんの予防が、かかりつけ医を見つけたらいいきっかけが思っています。

**横倉** お勤めの会社の定期健診で受けられる場合もあります。対象の男性には、2022年3月31日までの3年間、居住地の市区町村からクーポン券が届きますから、それを持って医療機関等に行くと、抗体検査と予防接種が公費で受けられます(※)。厚生労働省のホームページには抗体検査や予防接種を受けられる医療機関のリストが載っています。

**田中** 無償でも、忙しい人はなかなか病院に行けないのでは……。

**横倉** 居住地以外の医療機関も利用できるなど、働く人にとつて最大限に機会を増やせる仕組みになっていますし、医療機関の協力により、土日や夜間に実施しているところもあります。

**田中** 土日や夜も対応していただけるなら、あとは本人の意思ですね。これからは大きなイベントもありますし、海外からの渡航者が増えます。風しんの危険がない国として迎えたいですね。逆に海外から感染症が持ち込まれることはないんですか？

**田中** 対象の年代に当てはまる人はぜひ調べてほしいですね。どこへ行けば検査が受けられるのですか？

**横倉** それもあります。基本的なことですが、手洗い、うがい、マスクをして、ワクチンがあるものについては予防接種を受けるようにしましょう。少しでも異変があったらかかりつけ医に相談することをお勧めします。今回の風しんの予防が、かかりつけ医を見つけたらいいきっかけが思っています。